中学

WinPass

国語 2年

説明的文章 指示語や二字熟語の構成等の問題集

中2国語 | 中学WinPass

読解編

1 説明的文章(1) 指示語

学習目標
・指示語とは何か、どのような役割がある言葉なのかがわかる。
・指示内容の捉え方や、指示内容を確認する手順がわかる。
・指示内容を正確に抜き出したり、書き表したりできる。

要点のまとめ

●**指示語**

指示語とは？ 同じ言葉の繰り返しを避け、文章を読みやすくするために使う言葉。例これ・そこ・あちら・この○○・そんな○○

指示内容を捉える→確認する

❶指示語を含む一文の内容を確かめる。

例テーブルの上に桃がある。それは私の大好物だ。
（指示語＝それは／指示語を含む一文＝私の大好物だ。）

指示語が指す内容がどのようなものかは、指示語を含む一文で確認できます。「私」の「大好物」とは「何か？」と考えると、「それ」が指すものを、あらかじめ想像することができます。

❷指示語の指す内容は、指示語より前にあることが多いので、まずは指示語の前に注目して、指示内容を捉える。

例テーブルの上に桃がある。それ（指示内容）は私の大好物だ。

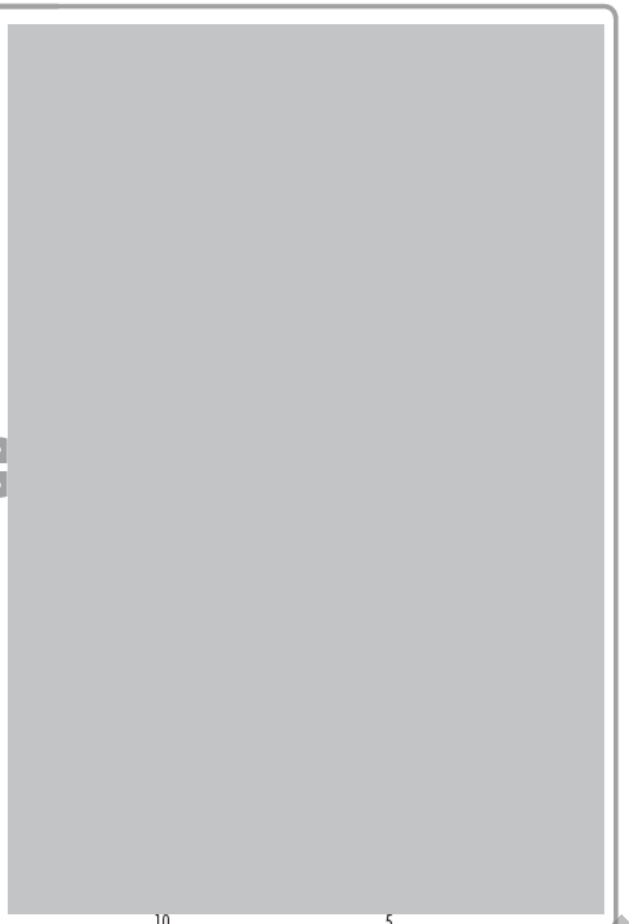
❸指示語の部分に指示内容を当てはめてみて、文意が通ることを確かめる。

例テーブルの上に桃がある。桃（当てはめる）は私の大好物だ。

「それ」のところに「桃」を当てはめても、文章の意味は自然です。つまり、「それ」は「桃」を指していると確認できます。この手順で指示内容が正しいか判断できます。

確認問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



漢字・語句・文法の確認

(1) 漢字の読み書き——線㋐～㋓の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

㋐（　　）　㋑（　　）
㋒（　　）　㋓（　　）

(2) 類義語を考える　～～線A「方法」と似た意味を表す熟語となるように、□に当てはまる漢字一字を書きなさい。

□段

(3) ! 同音異義語を考える　～～線B「後退」と同じ読み方をする熟語を、二つ以上書きなさい。

SAMPLE

35　30　25　20　15

(4) 部首 ～～線C「押」の部首名を平仮名で書きなさい。

(5) ! 同訓異字 ～～線D「測れない」とありますが、「測」と同じ訓読みで、次の文の□に当てはまる漢字を、後から一つ選び、記号で答えなさい。

▪友人の悲しみを□ることはできなかった。

ア 図　イ 量
ウ 諮　エ 計

(6) 段落 この文章は、いくつの段落でできていますか。算用数字で答えなさい。

文章内容の確認

(7) 指示語 ═線「これ」は、何を指していますか。文章中から八字で抜き出しなさい。

(8) 文章内容の確認 この文章は何について述べたものですか。次の□に当てはまる言葉を、文章中から二字で抜き出しなさい。

▪ミミズの□について。

SAMPLE

基本問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(1) ——線①「この方法で後退もできるのです。」について、次の各問いに答えなさい。

1 指示語「この方法」とは、どのような方法ですか。文章中から十三字で抜き出しなさい。

2 内容理解「後退もできる」とありますが、後退する方法について説明した次の文の［　］ⓐ～ⓒにはア「前」、イ「後ろ」のどちらが当てはまりますか。それぞれ記号で答えなさい。

▪太くなるところを足がかりにして、［ⓐ］のほうが細くなり後ろへ退く。

←

▪太くなった［ⓑ］のほうに［ⓒ］のほうが引っ張られる。

ⓐ［　］　ⓑ［　］　ⓒ［　］

(2) ! 指示語 ——線②「この方法」とは、どのような方法ですか。文章中の言葉を使って、十五字程度で書きなさい。

(3) 指示語 ——線③「この動作」を説明した次の文の［　］に当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

▪左右に体を［　　］、体全体を［　　］させて飛び跳ねる動作。

SAMPLE

(4)　――線④「このスピードを測れないものか」について、次の各問いに答えなさい。

1　**指示語**「このスピード」とは、何のスピードですか。次の文の□に当てはまる言葉を、文章中から五字以上十字以内で抜き出しなさい。

▪ミミズが□スピード。

5

2　**内容理解**　筆者はどのようにして「このスピード」を測りましたか。その手順をまとめた次の文の□ⓐ・ⓑに当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ一語で抜き出しなさい。

▪ⓐ□がわかるように、ミミズと平行にメジャーを置く。
▪ミミズを刺激する。
▪ビデオで撮影して、ビデオ編集ソフトで□ⓑを計測する。

ⓐ
ⓑ

(5)　**内容理解**　この文章を大きく二つに分けるとすると、後半はどこからですか。段落番号で答えなさい。

□段落

(6)　**文章の把握**　この文章で説明されていることとして当てはまらないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　ミミズの剛毛は、体を伸縮させて前後に移動するときに役立つ。
イ　ミミズは、剛毛で地面を押し、引っかかりを作って蛇行する。
ウ　ミミズは、体の縦方向に走る筋肉を順番に伸縮させて跳ねる。
エ　ミミズは巣孔から体を半分出していても、一瞬で巣孔に戻れる。

□

要点＋

▪指示語には「これ」「それ」のようなもの以外に、次のようなものもある。指示内容を捉えるときは、まとめ方に注意する。

例「この考え」とは、どのような考えですか。→「○○（という）考え。」
例「こんなとき」とは、どのようなときですか。→「□□（の）とき。」
例「そこ」とは、どこですか。→「△△（の）場所。」「△△（する）ところ。」

▪指示語の中には、指示語より後の内容を指し示すものもある。

例何回やってもうまくいかない。そんなときは、こう考えてみよう。何か大切なことを見落としているのではないか、と。
（指示語 → 指示語）

SAMPLE

演習問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

20　15　10　5

45　40　35　30　25

SAMPLE

(1) 指示語 ——線①「それ」は、何を指していますか。文章中の言葉を使って、十字程度で書きなさい。

(2) 指示語 ——線②「こんなふうに自身の羽毛を使ったのではないか」とありますが、「羽毛」をなんのために使ったのですか。次の各文の□に当てはまる言葉を、Aは七字、Bは十六字で、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

A　恐竜□のため。

B　恐竜が□ため。

A

B

(3) 指示語 ——線③「そんな恐竜もきっといたのでしょう」とありますが、どんな恐竜がいたと考えているのですか。最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　鳥のような羽毛やつばさのある恐竜。

イ　羽毛やつばさで体をあたたかく保っている恐竜。

ウ　つがいになるために羽毛やつばさでアピールする恐竜。

エ　羽毛やつばさを使って敵から身を守る恐竜。

(4) 指示語 ——線④「現代の鳥と同じようなこうした色素や構造」について説明しているのは、どの段落ですか。当てはまる段落番号を全て答えなさい。

(5) ! 指示語 ——線⑤「最近、以前に比べて恐竜の図鑑がとてもカラフルになった」とありますが、なぜカラフルになったのですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

(6) 文章の把握 ——線⑥「恐竜がカラフルな羽毛をまとっていたとしても、なんの不思議もないのです」とありますが、「なんの不思議もないのです」といえる根拠をまとめた次の表の□ⓐ～ⓒに当てはまる言葉を、ⓐは二字、ⓑは五字、ⓒは七字で文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

恐竜の化石	恐竜の羽毛には□ⓐがあった。
鳥の視覚の能力	恐竜には□ⓑが見えていた。
鳥・蝶類・魚の色	□ⓒ生き物はカラフルになる傾向がある。

ⓐ

ⓑ

ⓒ

指示内容を捉える→文章の内容や筆者の考えを正しく読み取れる

☆文章を読むときには、「この指示語は何を指している?」と確かめる習慣をつけましょう。すると、文と文のつながりがはっきりとわかるようになります。指示内容を正しく捉え、筆者がどのような筋道で、何を述べようとしているのかを読み取りましょう。

SAMPLE

3 二字熟語の構成

学習目標　二字熟語の構成がわかる。

要点のまとめ

●熟語の構成

似た意味の漢字を組み合わせたもの	例 樹木　清潔
反対の意味の漢字や、対になる漢字を組み合わせたもの	例 取捨　表裏
上の漢字が下の漢字を修飾するもの	例 洋画　予告
下の漢字が上の漢字の目的や対象を示すもの	例 観劇　就職
上と下の漢字が主語と述語の関係にあるもの	例 国立　人造
打ち消しなどの接頭語が付くもの	例 無念　非常
意味を付け加える接尾語が付くもの	例 平然　美的
同じ漢字を重ねたもの（畳語）	例 個々　刻々
三字以上の熟語を省略したもの	例 国連（国際連合）

1 熟語の構成　次の構成の二字熟語になるように、□に適切な漢字をそれぞれ書きなさい。

① 似た意味の漢字を組み合わせたもの　清□

② 反対の意味の漢字や、対になる漢字を組み合わせたもの　難□

2 熟語の構成　次の構成になっている熟語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 上と下の漢字が主語と述語の関係にあるもの　□

② 打ち消しなどの接頭語が付くもの　□

③ 意味を付け加える接尾語が付くもの　□

④ 同じ漢字を重ねたもの　□

⑤ 三字以上の熟語を省略したもの　□

ア 堂々　イ 未明　ウ 人造
エ 陽性　オ 特急

3 熟語の構成　次の熟語と構成が同じ熟語をそれぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 予告　□
ア 物価　イ 豊富　ウ 苦楽　エ 指名

② 防災　□
ア 尊敬　イ 美談　ウ 就職　エ 国立

③ 河川　□
ア 授受　イ 過去　ウ 急増　エ 未来

④ 送迎　□
ア 道路　イ 古書　ウ 読書　エ 師弟

⑤ 重視　□
ア 会員　イ 出題　ウ 精密　エ 攻守

漢字の読み書き(3)

――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

① 農業を営む。　□
② 家具が傷む。　□
③ 鮮烈な印象を残す。　□
④ 愉快な物語。　□
⑤ 記憶が薄れる。　□
⑥ お金をアズける。　□
⑦ ヤクソクを果たす。　□
⑧ 絵のハイケイ。　□
⑨ 通信がタえる。　□
⑩ ゲンミツに言う。　□

SAMPLE

言語編　漢字・語句

4 三字熟語・四字熟語の構成

学習目標　三字熟語・四字熟語の構成がわかる。

要点のまとめ

●三字熟語の構成　二字熟語＋一字の形が多い。

上の二字熟語が下の一字を修飾するもの	例 競技場
上の一字が下の二字熟語を修飾するもの	例 新学期
打ち消しの接頭語や、意味を付け加える接尾語が付くもの	例 非公開　効果的
三字が対等に並んでいるもの	例 市町村

●四字熟語の構成　二字熟語が結びついたものが多い。

似た意味の二字熟語を組み合わせたもの	例 不平不満
反対や対になる意味の二字熟語を組み合わせたもの	例 質疑応答
上と下の二字熟語が主語と述語の関係にあるもの	例 機会均等
上の二字熟語が下の二字熟語を修飾するもの	例 携帯（けいたい）電話
四字が対等に並んでいるもの	例 春夏秋冬

1 三字熟語　次の構成になっている熟語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 上の二字熟語が下の一字を修飾するもの　□

② 上の一字が下の二字熟語を修飾するもの　□

ア 大自然　イ 小中高　ウ 発表会

2 三字熟語　次の□に当てはまる漢字を「不・無・非・未」からそれぞれ一つずつ選び、書きなさい。

① □公開　② □本意

③ □解決　④ □責任

3 三字熟語　次の□に当てはまる漢字を「性・的・化」からそれぞれ一つずつ選び、書きなさい。

① 印象□　② 簡素□　③ 感受□

4 四字熟語　次の構成になっている熟語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 似た意味の二字熟語を組み合わせたもの　□

② 反対や対になる意味の二字熟語を組み合わせたもの　□

③ 上と下の二字熟語が主語と述語の関係にあるもの　□

④ 上の二字熟語が下の二字熟語を修飾するもの　□

⑤ 四字が対等に並んでいるもの　□

ア 都道府県　イ 前代未聞
ウ 自由自在　エ 油断大敵
オ 半信半疑

漢字の読み書き(4)

――線の漢字に読み仮名（がな）を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

① 中身が透ける。	⑥ 布が青くソまる。
② 印象に残る。	⑦ オサナい日の思い出。
③ 弟に付き添う。	⑧ 本領をハッキする。
④ 由来を調べる。	⑨ 仕事にセンネンする。
⑤ 常識を疑う。	⑩ 手順をアヤマる。

SAMPLE

5 文節・単語

【学習目標】文を文節・単語に区切り、文節と文節の関係を理解できる。

●文節・単語

要点のまとめ

文節	文を、意味がわかる程度に、できるだけ短く区切ったまとまり。
単語	文節を、言葉の意味がなくならないところまで、細かく分けたもの。言葉の最も小さい単位。

例 川沿いに二匹の犬がいる。

文節に分ける ←
- 切れ目に「ネ」「サ」「ヨ」などを入れるとわかりやすい。
- 「走っている」などは、「て(で)」の後に切れ目がある。
- 「こと」「もの」「ところ」「ため」の前に切れ目がある。

川沿いに(ネ)／二匹の(ネ)／犬が(ネ)／いる(ネ)。

←単語に分ける…「見上げる」「体育館」などの複合語は一単語として数える。

川沿い|に／二匹|の／犬|が／いる。

文節と文節の関係…文節と文節は、文の中でいろいろな関係で結び付き、文を組み立てている。

- **主語・述語の関係**（主語と述語の文節の結び付きのこと）
  例 兄が(主語(誰が)) 走る。(述語(どうする))　天気が(主語(何が)) とても よい。(述語(どんなだ))
- **修飾・被修飾の関係**（修飾する文節と修飾される文節との関係）
  例 花が(修飾語(どのように)) きれいに(被修飾語(どうする)) 咲いた。
- **接続の関係**（接続語がつなぐ文と文や接続語の後の文節との関係）
  例 暑かった。(文) だから、(接続語) 飲み物を 買った。(文)
- **独立の関係**（独立語とその後に続く他の文節との関係）
  例 おや、(独立語 後に続く他の文節) それは 何ですか。

1 文節　次の各文を、例にならって文節に分けなさい。

例 きれいな／夜景に／目を／奪われる。
① 母とともに買い物を楽しむ。
② 私の宿題はずいぶん進んでいる。
③ 弟がこぼした麦茶を拭いてやる。
④ 私は彼と話したことはありません。

2 単語　次の各文を、例にならって単語に分けなさい。

例 大きな|水たまり|を|飛び越える。
① 公園の砂場で山を作る。
② 空にきれいな虹がかかる。
③ 彼は出かけるところです。
④ 池にメダカが泳いでいる。
⑤ 今日の朝会は体育館で行う。
⑥ コーチの合図でいっせいに走り出す。

3 文節と文節の関係　次の各文の――線と――線はどのような関係ですか。後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① ひまわり、これは 夏の 季語です。
② どこも かなり 流れは 激しい。
③ 彼女は いつも 気持ちよさそうに 歌う。
④ よく 見えなかった。しかし、十分 楽しめた。

① □　② □　③ □　④ □

ア 主語・述語の関係　イ 修飾・被修飾の関係
ウ 接続の関係　エ 独立の関係

漢字の読み書き(5)
――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

① 鋭い意見。	⑥ 農業をイトナむ。
② 薄い紙で包む。	⑦ 英気をヤシナう。
③ 雑木林で遊ぶ。	⑧ ヒヒョウの言葉。
④ 主催者の挨拶。	⑨ 山のイタダキ。
⑤ 画面に人物が映る。	⑩ 名前をツげる。

SAMPLE

言語編　文法

6 単語の分類

学習目標　自立語・付属語、活用の有無、品詞分類表がわかり、それぞれ見分けることができる。

要点のまとめ

●**単語**…自立語と付属語に分類することができる。

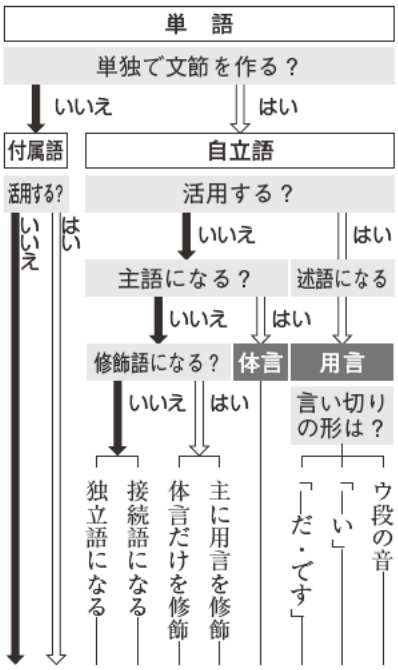
自立語	付属語
■単独で文節を作れる単語。 ■必ず文節の初めに来る。 ■一文節に必ず一つだけ入っている。	■単独では文節を作れない単語。 ■必ず自立語の後に付く。 ■一文節に一つもないこともあれば、複数入っていることもある。

例　部活はだいたい四時からだ。（自 自 自）
例　合宿での練習は厳しそうだ。（付 付 付）

●**活用**…単語が、後に続く単語によって、形を変えること。

活用しない語	活用する語
後にどのような単語が来ても、形が変わらない。 例　外はとても寒い。 …「外」「とても」は形が変わらない。	後に続く単語によって形が変わる。 例　本を読む。 → 本を読もう。 …「読む」の後に「う」が付いたことで、「む」が「も」に変わっている。

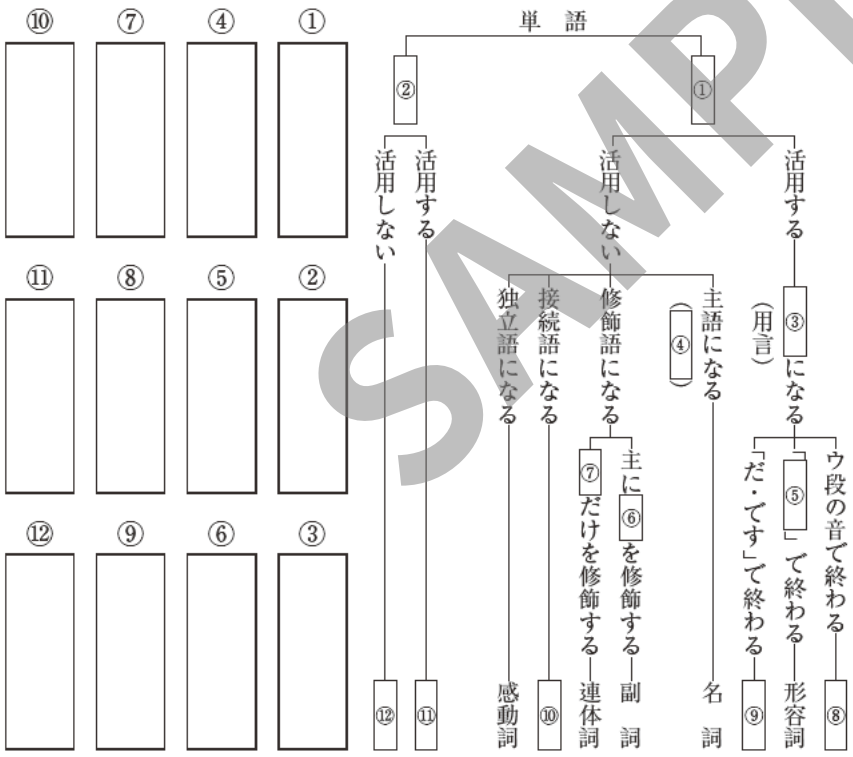
●**品詞分類表**



1 自立語・付属語　次の各文の自立語には――線を引き、付属語は□で囲みなさい。

① 大量の紙の束をまとめる。
② 目的地までかなり距離がある。
③ 母から温かい紅茶をもらう。
④ 姉は欲しいものがたくさんあるようだ。

2 品詞の分類　次の品詞分類表の□に当てはまる言葉を書きなさい。



漢字の読み書き(6)

――線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

① 考え方が違う。	② 物をお金に換える。	③ 人類の祖先。	④ 勉強の合間。	⑤ 衛星を打ち上げる。	⑥ エンソウ会を開く。	⑦ カンダン計で測る。	⑧ 作業をフタンする。	⑨ ツウカイな活劇。	⑩ 返答にコマる。

SAMPLE

弊社サンプルをご覧いただき、
ありがとうございました。

紙面サンプルは
ここまでです！

Bunri Teachers' Site へのご登録で、
全ページ見本※と目次をご覧いただけます。

※一部教材を除く

会員登録はこちら

Bunri Teachers' Site とは？

株式会社文理が運営する、塾・学校の先生方のための情報サイトです。

- 文理の教材紹介
- デジタルサービスやテストのお申込み
- 教育情報の発信
- オンラインセミナーのお知らせ

■ Bunri Teachers' Siteへのご登録には弊社発行の招待コードが必要です。
■ 本サイトは一般の方のご利用をお断りしております。あらかじめご了承ください。

BUNRI